

2025年度に向けた三浦半島地域連合、政策・制度要求と提言 提出に向けて議員団会議メンバーと意見交換を開催!

8月22日(木)18時からヴェルクよこすかにて、2025年度に向けた三浦半島地域連合の政策・制度要求と提言について三浦半島地域連合の五役(8名)と議員団会議メンバー(11名)と意見交換を開催しました。

この意見交換は毎年提出前に、議員団メンバーと議論を行い、提案内容の充実や共有化を図るとともに、一つでも多く政策・制度要求と



提言の実現することを目的に行っています。



冒頭、及川議長からは今年度もこれから説明する内容にて4市1町に提出しますが、皆さんからの意見を取り入れて、より良い要求と提言にして、提出後は実現に向けて協力頂きたいと挨拶をしました。

その後、三浦半島地域連合の2025年度に向けた政策・制度要求と提言の内容を説明し、意見交換となりました。

意見交換では

- ① 教育環境整備については県独自の教職員配置を強く求めること
- ② 投票率向上については投票困難者対策を盛り込むべきではないか
- ③ 障がい者の支援についての表現方法の改善
- ④ 路線バス減便対策について表現方法の改善
- ⑤ 高木の管理・伐採は全域ではなく、危険な個所を特定して行うようにすべき
- ⑥ 避難所になることも想定されることから、学校の体育館について空調設備の設置を進めこと
- ⑦ 浦郷のトンネルのガードレール設置は困難なことから、安全対策を講じるなどに変更すべきなど様々な項目において助言や課題提起を頂きました。

今後、これらを修正し、9月13日の五役会、9月20日の幹事会の確認をへて、更なる内容充実を行い、10月3日に三浦半島地域4市1町に提出をして行きます。